

9 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
1	国道の歩道の除草	<p>国道の歩道の草の管理をしないんですか？ 夏頃からずっと生えてて、高校生の自転車通学の支障です。 管理は年間でどこかの業者に委託しているのではないんですか？ なぜ放置したままになっているのですか？ この状況で委託料を支払うのはおかしくないですか？ 職員は現場管理しないんですか？ 地元住民が声を上げないと、草の管理はしないんですか？ 徳島新聞の読者の手紙に掲載されないと管理しないんですか？ この問い合わせに返信は不要です。今すぐ除草して下さい。</p>
2	JR車両基地を旧文化センター高架へ	<p>懸案の車両基地は旧文化センター高架が最も早いところで、早急に事業化すべきではないでしょうか。 高架1F部分の商業施設はすぐ横に中洲市場があり多くの顧客を集めるでしょう。 また徳島駅北には20～30F程度の徳島のランドマークとなる高層ホテルやタワーマンションを建築し、若者が夢と希望を持つことができる近未来的で持続可能な都市空間の創造が必要だと思います。 また高齢者も徳島駅に直結したホテル・マンションは移動が楽でしょう。 藍場浜の新ホールと合わせ、徳島県の人口を再び増やす大きなチャンスだと思います。 阿波踊りで4日間100万人以上、ディズニーパレード、サンリオパレードではそれぞれ7万人前後の人出があることからも、都市としてのポテンシャルは大きいでしょう。 これまでの成功法則を活かし、更に高い目標を掲げ進めていってほしいと思います。 そして牟岐線の高架事業も進め、文化の森駅までの高架を実現すべきではないでしょうか。 高架している文化の森駅や阿波富田駅北側や高徳線・徳島線佐古駅周辺では列車と車等の事故はゼロです。 一方、未高架の徳島駅～阿波富田駅～二軒屋駅～文化の森駅周辺の踏切では、時々列車、車、バイク、自転車、歩行者等の接触事故がありとても危険な状態にあります。 鉄道高架は津波や豪雨洪水の避難場所となり、行方不明者の減少に貢献するでしょう。 東日本大震災では自衛隊、警察、消防、米軍等が多くの人員を割いて行方不明者の捜索にあたりました。 捜索者や避難者の疲労軽減、低体温症防止、また行方不明にならない為にも鉄道高架は有効だと考えます。</p>